



# 東 風

横浜市立綱島東小学校

## 充実した学校生活を 7月の東の子

副校長 高島 智子

校庭ににぎやかな子ども達の声が戻ってきました。昨年、一昨年と2年にわたる校舎・校庭の工事による物理的な狭さから解放され、南棟の前には色鮮やかな複合遊具が再設置されています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から密を避け、休み時間の使用については低学年（1～3年）と高学年（4～6年）とで使える日を分けていますが、校庭いっぱい広がって遊ぶ綱島東小の子ども達の姿を見ることができるのは本当に嬉しく思います。汗を流してめいっぱい楽しみ、チャイムとともに教室に戻っていく様子は本当にほほえましい限りです。

今年は一日に4回「朝時間のはじまり」「休み時間の終わり」「掃除の終わり」「一日の終わり（下校時刻）」のポイントでチャイムを鳴らしています。時間を意識させたいのはもちろんですが、休み時間など限られた時間を有効に夢中になって過ごせるように・・・という教職員の思いが込められています。時計を見て行動することはもちろん大切ですが、時には時計を見ることもなく集中して取り組み、さっと切り替えられることもまた大切です。

チャイムを合図に区切りをつけて、めりはりをつけて行動する子ども達、そのだれもが充実した満足そうな笑顔です。遊びでも、委員会や実行委員会の仕事でも、友達との語りでも。

そして、夢中になって取り組む子ども達の姿は、各学年で見られます。個別級では、毎年恒例の野菜作りに精を出しています。1年生は6年生と一緒に体力テストや図工作品の鑑賞ツアーを経て、いよいよ自分たちの力で学校たんけんを始めました。2年生は、自分のお気に入りの場所を目指して綱島東のまちを探検しています。3年生はGIGA開きを経て、自分のiPadを駆使して植物の育ちを絵図と画像で記録するなどしています。4年生は、外部講師をお招きしてパラリンピック競技でもあるボッチャを体験し、福祉について目を向けています。

5,6年生は、まん延防止等重点措置の再延長によって、6月下旬に予定していた体験学習・修学旅行が延期となりました。準備を進めてくださっていた保護者の皆様にもご心配・ご迷惑をおかけしています。まん延防止等重点措置の期間中は神奈川県教育委員会の要請により、宿泊を伴う行事や県外に出かける活動は延期または中止しなければなりません。しかし、子ども達はここで気持ちを切らすことなく、11日にてまん延防止が解除され、7月中に学習が実施できることを信じてそれぞれ気持ちを切り替え再スタートしています。

子ども達が夢中になって積み上げてきたそれぞれの学習が無事実施され、実りあるものになることを願ってやみません。